



諫早市立森山西小学校 学校経営方針

学校教育目標

心豊かで、「徳・知・体」の調和が取れ、自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる「生きる実践力を身につけた子どもの育成をめざす。

県教育方針
市教育方針
法規・学習指導要領



一人ひとりが輝く学校を創造する 自分も大切 みんなも大切

経営の基本方針

- (1) 子どもと向き合い、子どもの可能性を伸長するよう全職員が協働して取り組む。
- (2) 子ども一人一人が、安全・安心で楽しく学びあえる学校づくりに努める。
- (3) 実践的授業力の向上を目指し、実効性のある校内研修の充実を図る。
- (4) 教育効果を上げるために、地域・保護者と連携した教育活動を推進する。
- (5) RPDCAサイクルを生かした教育活動を推進し、教育目標の具現化を図る。
- (6) 職員一人一人が生きて、やりがい・働きがいのある職場づくりに努める。
- (7) 信頼される教育公務員としての服務遵守と互いに倫理観の高揚が図られる職場づくりに努める。

本年度の重点・努力点

- (1) 児童自らが考え、頑張り成長を認め合うことで児童の自己肯定感を高め、自立的に生きる力を育む。
- (2) 主体的に考え、学び合える授業実践を通して、基礎基本の定着と読解力の向上を図り、確かな学力を身に付けさせる。
- (3) 特別活動、体験活動、読書活動を通して、共に豊かに生きる心の育成を図る。



めざす学校像

- ① **子どもと教師がともに励む、活気のある学校**
・子ども一人一人が生かされ、希望に満ちた学校
・学びの喜びや成就感・満足感を体得できる学校
・個別の支援を要する子への配慮ができる学校
- ② **信頼の絆で結ばれた学校**
・情報連携から行動連携をめざす学校
・地域や保護者に信頼される学校
- ③ **美しく潤いのある学校**
・静かで落ち着いた環境の中で学べる学校
・整頓された美しい環境が整備されている学校
・温かな人のつながりがある学校



共に励む学校

特別支援教育の充実
・特別支援教育の視点にたったきめ細かな指導を行う。
・子どもの実態を把握し、定期的な情報交換会で情報を共有する。
・特別支援推進委員会で具体的な方策を検討し、ニーズに応じた支援をする。
・保護者や関係諸機関との連携による支援の充実を図る。

信頼の絆で結ばれた学校

開かれた学校、安全安心な学校づくり
・学校だより・学年だより・保健だより、ホームページ、安心メール等で情報発信をし、本校の教育活動への理解と更なる協力を得る。
・地域ボランティア等と連携し、登下校時の安全を確保する。
・危機管理マニュアルの整備等有事の際の対処法を確立するとともに、安全点検を確実にし、事故の原因を作らない。
・子どもの食物アレルギー対応は、保護者と連絡を密にし、事故防止に細心の注意を払う。

美しく潤いのある学校

静かで落ち着いた環境の中で学べる学校づくり
・清掃が行き届き、ものが機能的に整理整頓された環境をつくる。
・子どもの成長や学習の成果が見える掲示をし、成長に資する環境をつくる。
・整理整頓され、潤いのある落ち着いた学校環境づくりに努める。



めざす児童像

- ① **心豊かな子ども**
人に優しく、自然に優しく、感性にあふれた子
- ② **よく考える子ども**
自ら学び考える力をもつかしこい子
- ③ **やりぬく子ども**
あと一つ、あと一回の粘り強さをもった心身ともにたくましい子

あべまきの合言葉

あ：あいさつのできる子
べ：ベストをつくす子
ま：学ぼうとする子
き：きまりを守る子



めざす教師像(こんな教師でありたい)

- ① **使命感に徹し、研修に努め、情熱を注ぐ教師**
・一人一人の子どもを大切に教師
・絶えず実践・研究に努め、授業を磨く教師
・自分の良さを教育に生かす教師
- ② **厳しさと優しさを持ち、子どもの心がわかる教師**
・やってみせる、見守る、褒める教師
・愛情に裏打ちされた厳しさと優しさをもつ教師
- ③ **児童・保護者・地域の信頼と期待に応える教師**
・一人一人の伸びたいという思いに応える教師
・保護者と連携して子どもを育てる教師
・地域の教育力や思いを学校教育に生かす教師

心豊かな子ども

- ① 共に豊かに生きる心の育成
・子どもの自主的・主体的な活動や協働を推進し、支持的な風土の学級づくりを進め、「いじめを許さない」集団作りを進める。
・児童会活動、縦割り活動、交流活動、体験活動を通して、思いやりの心や協力し、主体的に活動する態度を育てる。
・学校図書室、森山図書館の活用を推進し、読書習慣を育成することで豊かな心を育てる。
貸出目標20000冊 家読の推進 「読書タイム」の充実 読む力を育てる読書へ
- ② 共に気持ちよく生活するための規範意識の醸成
・生活目標に沿った児童の主体的な取組活動を通して、自ら気持ちの良い生活環境を作ろうとする態度を育てる。
・時と場に合った快い言語環境を構築し、温かい人間関係づくりを進める。

よく考える子ども

- ① 主体的に学び深め合う授業実践の展開
・「西小スタンダード」を基本とした学習活動を展開し、学習規律の定着と、主体的に学び合う態度を育てる。
「めあて」「まとめ」「書く活動」「学び合い」 県授業改善メソッド 市授業改善の視点利用
- ② 基礎基本の確実な定着
・読解力向上を図る指導法の研究と実践を進める。
・スモールステップ指導で、褒める、認める学習指導の実践。
・「はげみタイム」の計画的運用 (PDCAサイクル)
・自主学習の充実した取組を図り、家庭学習の習慣化を図る。

やり抜く子ども

- ① 運動の工夫を促す体の授業づくりと体力向上
・年間を通して児童が主体的に取り組める体力向上の活動を進める。
運動会 大なわタイム ランランタイム
- ② 健康維持増進のための指導の充実
・基本的な生活習慣 (歯磨き、早寝早起き、朝ご飯等、生活のリズム) の定着を図る。
・栄養教諭と連携による計画的な食育の充実を図る。
・歯科校医によるブラッシング指導の実施とともに、給食後の歯みがきを徹底する。